



学生実習が始まり、1か月余り。  
作付けられた作物も順調に生育して、収穫が始まりました。植付が始まった頃は乾燥傾向が強く、数日間隔で灌水する必要がありました。その後は適当に降雨があり、あまり管理の良くない学生の区画では雑草が目立ちます。あとひと月余り、夏休みが始まるまで、畑管理に学生が足を運び、汗を流します。そして麦の香りたっぷりの農園特製麦茶でのどを潤します。



昨年に引き続きズッキーニを栽培しています。学生が持ち帰るのですが、黄色いを知らない人が多く、緑見せるとズッキーニと認識してくれます。ズッキーニの生育は早く、1週間もすると500gを超える大きさになります。この大きいものを学生に見せると驚きと、もう少し小さいものを要求されました。  
右の写真の少し小さな実。ズッキーニのようなカボチャも栽培しています。こちらは実を大きくしないで収穫して炒め物や味噌汁で味わいます。



今月に入って、早生のブルーベリー食べごろとなりました。50円玉大の大粒品種です。学生に案内するとその大きさに驚き、熟した実を食べておいしさに感嘆しています。これから真夏に向けて、別の品種の果実も少しずつ色づき始めています。夏休みには収穫の本番となるでしょう。休み前には学生たちが味わえるでしょう。



農園には数種の野鳥が訪れ、畑で作業をしているとハクセキレイやムクドリがやって来て虫をついばみます。ラズベリーやブルーベリーが色づくとおナガが果実を狙ってやってきます。ブルーベリーはネットを張って食べられないようにしています。それにもかかわらず、ネットに乗り、沈み込むのを利用して実を啄ばみます。本能によるものなのか、驚きの行動でした。

今、オナガが園内の柿の木に営巣しています。そこにいるひなを狙ってカラスがやってくると、はるかに体の小さなオナガがつかいでカラスに向かっていき、追い払います。春にはキジバトがひなを育てていたのですがいつのまにかカラスの被害にあったようです。

